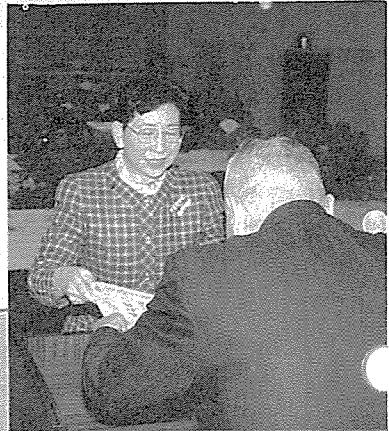


広報 しんち

平成4年 4.1

No. 250



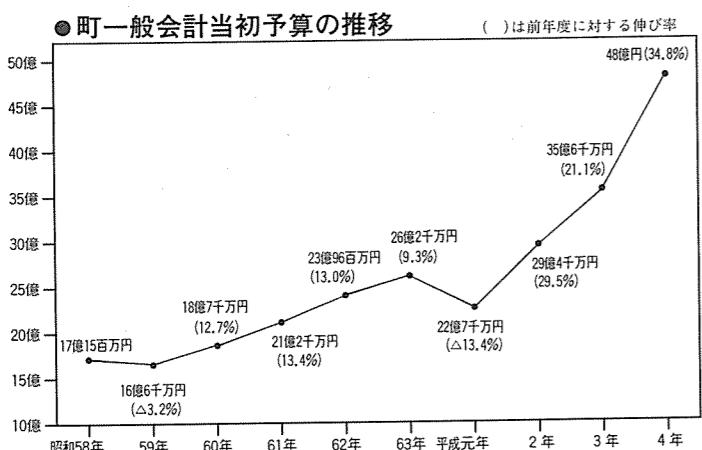
町特産いちじくワイン

ほほえみ誕生

いちじくワインの発表会が3月21日、農村環境改善センターで開かれました。町、議会、農協、行政区長、酒店経営者、婦人会代表ら約150人が出席。町特產品振興協議会長の平間甲一町農協組合長が、ほほえみの命名者の村上美保子さん(釣師)を表彰。祝宴でワインを試飲した出席者たちは「甘くていい香り。肉料理にも魚料理にも合いそう」「口あたりがソフトで女性向き」などと感想を述べながら、町特產品の誕生を祝いました。ほほえみは、発表会と同時に町内の酒店で1本1,500円(720ml)で一斉に売り出されました。



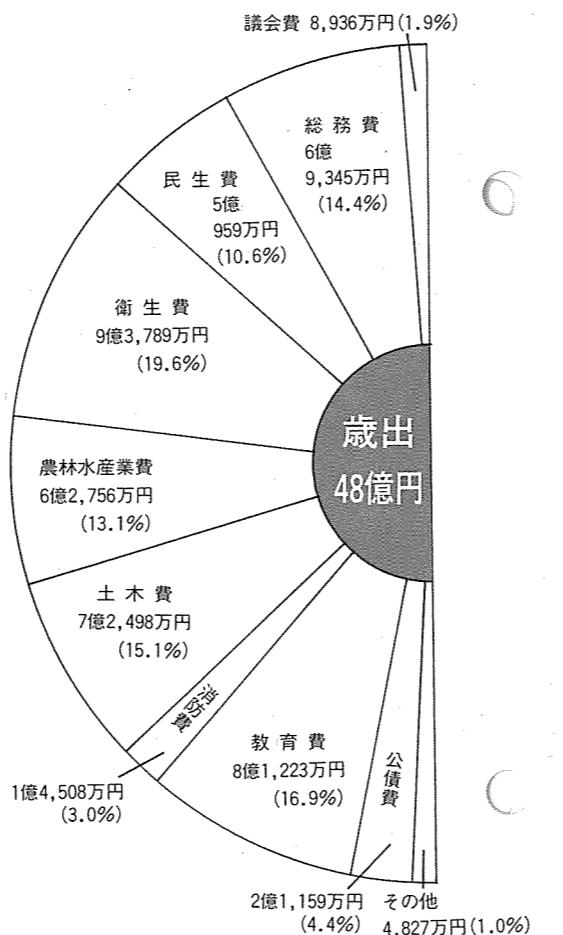
夢・未来・21世紀へ 魅力あ



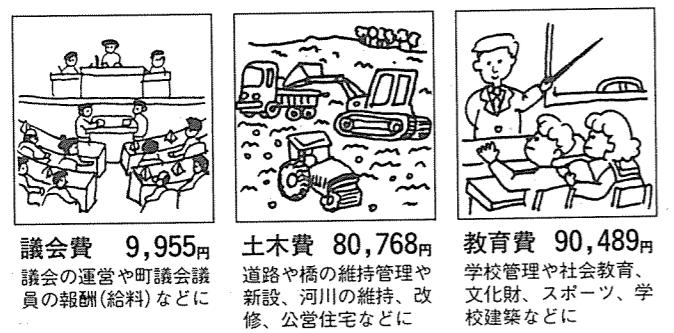
特別会計

国民健康保険	50,513万円
老人保健	56,695万円
水道事業	
収益的収入	11,968万円
資本的収入	25,099万円

平成4年度一般会計

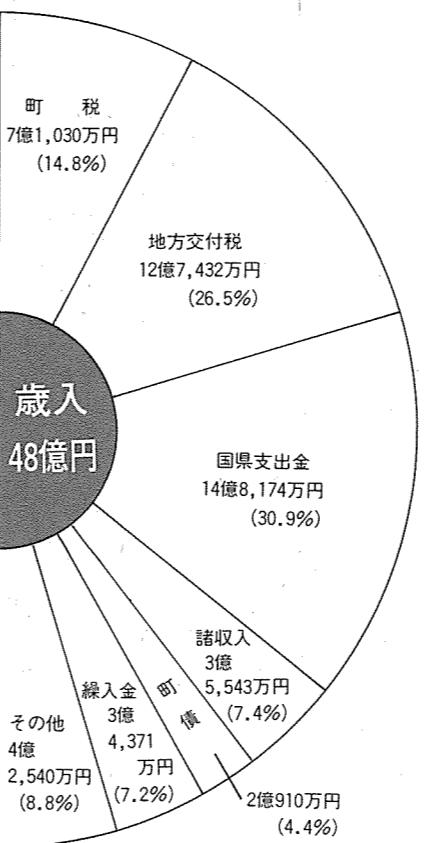


町民一人あたりに使用される金額



る町づくりへグッショ

当初予算(目的別内訳)



四月一日から新しい予算で平成4年度の町づくりがスタートします。さきの二月の定例議会で可決され、一般会計当初予算四十八億円に決まりました。前年度に比べ三四・八%の大幅な伸びとなっていますが、この要因は、新地小学校の改築事業や電源三法交付金事業によるものです。一方、町が自由に使える自主財源は依然乏しく、なお引き続き厳しい財政状況にあります。その中で、総合的にバランスのとれた活力ある町づくりのために予算編成を行いました。今年度は特に、新地小学校の改築、一般廃棄物処理の整備、防災行政無線の設置、特別養護老人ホームの建設、道路の整備、健康福祉の増進、地場産業の振興、人材育成などを重点に予算を計上しました。

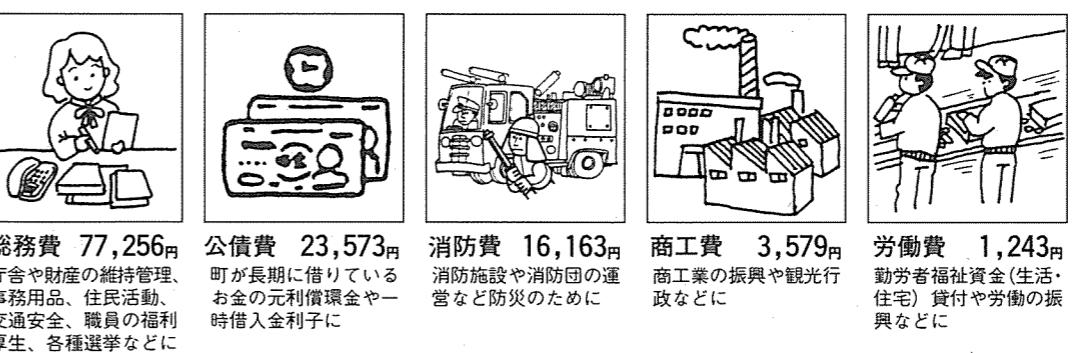
特別会計を含む総額では、六十二億四千二百七十五万円となっています。

防災無線・新規事業に着手

当初予算 48億円(前年度比34・8%の大幅な伸び)

534,759円

[一般会計当初予算額／人口 8,976人 3月1日現在]



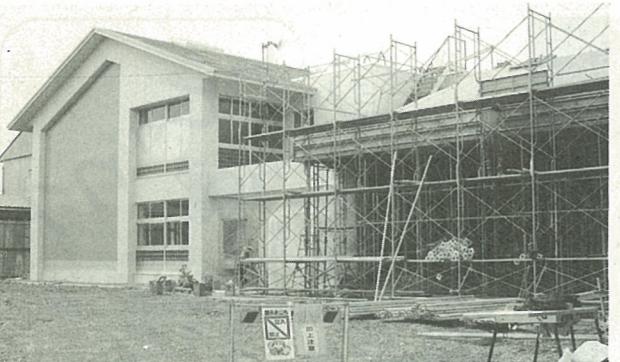
その他
(災害復旧費
諸支出金
予備費)
558円

ことしの 主な事業

暮らしへ うるおいと活力を

今年の予算編成にあたっては、昨年からスタートした町総合計画に基づき人口一万三千人、世帯数三千七百世帯の心やすらぐ快適な田園都市をめざし、「住みよい町づくり」、「創造性あふれる人づくり」、「安心できる福祉づくり」、「豊かな暮らしづくり」の四点を重点課題にしています。この四つの重点課題を中心に今年度の主な事業をみてみましょう。

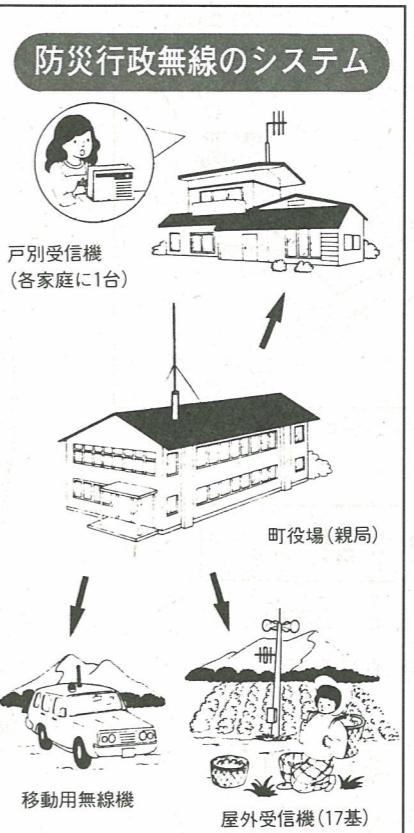
住みよい 町づくり



▲ 8月完成にむけて工事が進められる新地小学校舎

- 防災行政無線の設置 二億円 災害や行政情報をいち早くお知らせするため、町内全世帯に防災行政無線を設置します。役場に放送施設（親局）を設けて、全町一元放送により、全家庭に放送できるシステムです。全家庭、学校、保育所合わせて二千百六十カ所に戸別受信局を一台ずつ無償で貸付けをします。さらに、各行政区と沿岸地域や屋外に十七基、町の公用車には移動局を取り付けます。（電源三法交付金事業）

- 消防施設の整備 二千五百万円 平成二年度に引き続き、小型ポンプ付積載車二台、軽四輪駆動消防車二台、車庫四棟の整備を行い、地域防災活動体制の充実強化を図ります。（電源三法交付金事業）



安心できる 福祉づくり

- 特別養護老人ホームの建設事業補助金 九千万円 特別養護老人ホームの建設の事業主体は、社会福祉法人「しんち福祉会」（現在、認可申請中）。ホームは、新地町小川字川向地内（町民グラウンドの北側）に、敷地面積約一万平方メートル、鉄筋コンクリート平屋内に一般廃棄物（不燃物）処理施設を整備します。敷地面積五七、七〇〇平方米メートル、埋立面積六、二三〇平方メートル、埋立容量一八、一一三立方メートル、供給開始は、六年度から。（電源三法交付金事業）

な環境美化運動の推進とともに、処理施設の整備が急がれています。四、五年度の二ヵ年計画で福田字北原地内に一般廃棄物（不燃物）処理施設を整備します。敷地面積五七、七〇〇平方米メートル、埋立面積六、二三〇平方メートル、埋立容量一八、一一三立方メートル、供給開始は、六年度から。（電源三法交付金事業）

住みよい 町づくり

- 建て、床面積約一千四百平方メートル。定員は、特老が五十床、ショートステイ（短期保護）が二十床、それにデイ・サービスセンターを併設します。同ホームの建設費は約十億円。

- 一般廃棄物処理施設の整備 四億九千七百万円 環境保全の観点からごみの減量化、再利用が叫ばれている今日、自主的

- 一般廃棄物処理施設の整備 四億九千七百万円 環境保全の観点からごみの減量化、再利用が叫ばれている今日、自主的

創造性あふれる 人づくり

- 新地小学校の改築 五億五千八百万円 平成三年度からの継続事業で、本年八月完成にむけて急ピッチで工事

- 人材育成事業補助金 千百万円 地域づくりの核となる二十一世紀に向けた人材育成事業として、三年度に引き続き四年度は女性を対象に海外派遣研修を行います。また、国内研修の一層の充実を図ります。

- 人材育成事業補助金 千百万円 地域づくりの核となる二十一世紀に向けた人材育成事業として、三年度に引き続き四年度は女性を対象に海外派遣研修を行います。また、国内研修の一層の充実を図ります。

- 人材育成事業補助金 千百万円 地域づくりの核となる二十一世紀に向けた人材育成事業として、三年度に引き続き四年度は女性を対象に海外派遣研修を行います。また、国内研修の一層の充実を図ります。

豊かな 暮らしづくり

- 道路等の整備 八億一千三百万円 電源三法による道路整備事業を中心め道路維持修繕事業、市町村道路整備事業等により道路の整備を進めます。

- 道路等の整備 八億一千三百万円 電源三法による道路整備事業を中心め道路維持修繕事業、市町村道路整備事業等により道路の整備を進めます。

- 電源立地促進対策交付金事業

- 道路改良
- ・鹿狼線・南菅谷福田線
- ・測量調査設計
- ・町狼沢線・北原線・深町愛宕線
- ・富倉赤柴線
- ・道路維持修繕事業

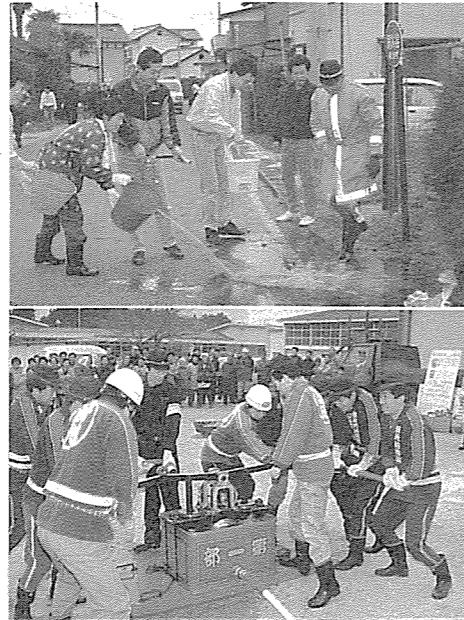
- 道路等の整備 八億一千三百万円 電源三法による道路整備事業を中心め道路維持修繕事業、市町村道路整備事業等により道路の整備を進めます。

- 道路等の整備

し自主防火訓練を行いました。

震度5の地震が発生して家屋やブロック塀が倒れ、負傷者が出土た上に火災が起きた、との想定で行われました。火災発生の通報と同時に住民が消火器とバケツを使って初期消火にあたり、ポンプ車も出動して放水を実施。負傷者を救助するため、応急処置訓練や応急担架を作製、護送も行われるなど実戦ながらに行われました。

その後、青少年ホーム前広場に集まり、消防署員から防火講話を聞き、腕用ポンプの放水体験などを



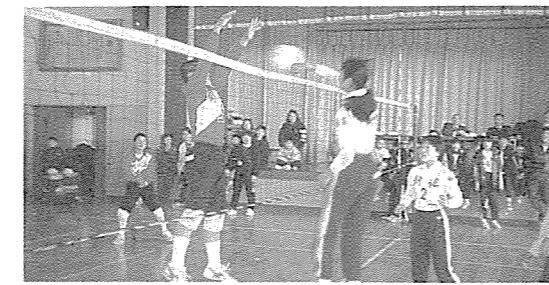
実戦さながらに防火訓練

補田密集地圖



老人会婦人部うが 積木を保育所に

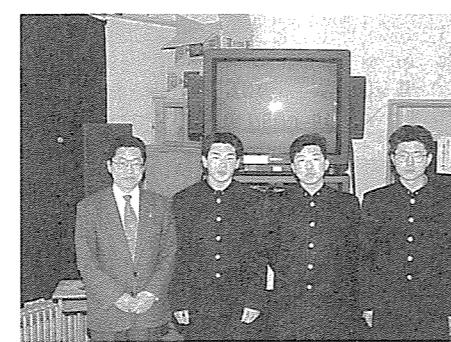
町老人会婦人部と一人暮らし老人ふれあいの集いの会員が、このほど牛乳パックを利用して積木をつくり、3保育所と母子健康センターに贈りました。町内から牛乳パックを集め、2個を1組にまとめ、紙を張り色を塗りきれいで丈夫な積木400個を作りました。保育所の子供たちは、思いがけないプレゼントに大喜び。毎日家や口ケットを作り楽しく遊んでいました。



スポ少バレー 熱戦を展開

町スポーツ少年団バレーボール部保護者会主催の第2回町小学校スポーツ少年団バレーボール大会が2月23日、新地小体育館で開かれました。

大会には、新地、駒ヶ嶺、福田3地区から学年別に12チームが参加、選手たちはコート狭しとスパイクにレシーブに走り回り、熱戦を展開しました。総合では新地が優勝。



相高放送局から
高校放送コンクール
全国一位ビデオ作品寄贈

29回全国高校放送コンクール全国大会で、文部大臣賞に選ばれたビデオ作品「せめて、新しい足袋の一足も」を寄贈されました。

戦争と平和をテーマに、神風特攻隊として昭和19年に19歳で戦死した同校卒業生の中野磐雄さんを取り上げた8分間のドキュメント。部長の目黒智さん(相高3年・木崎)は「今度NHK杯があるが、これまで3位が最高だったので、1位を目指して頑張りたい」と抱負を話していました。

なお、ビデオテープ(VHS)を貸し出しますので、ご希望の方は、役場企画振興課へご連絡ください。



町内の春祭りのトップを飾る秋葉神社(目黒秀明宮司)の例大祭が、3月15日に行われました。同神社は“火鎮めの神様”として享保3年に上ノ町に建立され、地元の住民の信仰を集めています。

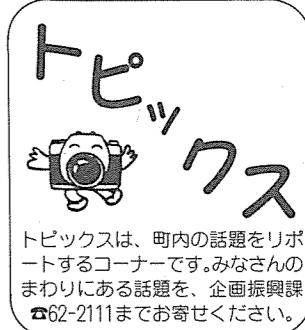
当時は、地域の子供たちが赤、黄、水色などの色とりどりの旗を奉納。統いて、住民150人が参加し、地域の平穏と家内安全を祈つてみこしを担ぎながら約2.5キロを練り歩きました。

町内の春祭りのトップを飾る秋葉神社(目黒秀明宮司)の例大祭が、3月15日に行われました。同神社は“火鎮めの神様”として享保3年に上ノ町に建立され、地元の住民の信仰を集めています。

当時は、地域の子供たちが赤、黄、水色などの色とりどりの旗を奉納。統いて、住民150人が参加し、地域の平穏と家内安全を祈つてみこしを担ぎながら約2.5キロを練り歩きました。



秋葉神社の例大祭



わが家のアイドル

永年勤続功労の長官表彰

中江竜団長ら3人

町消防団では平成3年度消防庁長官表彰で3人が永年勤続功労章を受けました。

功労章に輝いたのは、中江章団長、阿部栄重副団長、荒健悟訓練指導員。ともに35年近い消防団歴を持っています。

伝達式は、3月12日、町長室で行われ、荒町長が記章と表彰状を手渡し「栄えある受賞を心からお祝いします。今後も防火、防災のために力を貸してください。」とあいさつしました。



NTT相馬営業所(千葉勇市所長)が、3月17日、町に「電話お願い手帳」40冊を贈りました。この手帳は耳や言葉の不自由な人が街の中で緊急連絡したい時、周囲の人に用件を伝えるために使用するもの。町では、社会福祉協議会を通じ、関係者に配布します。

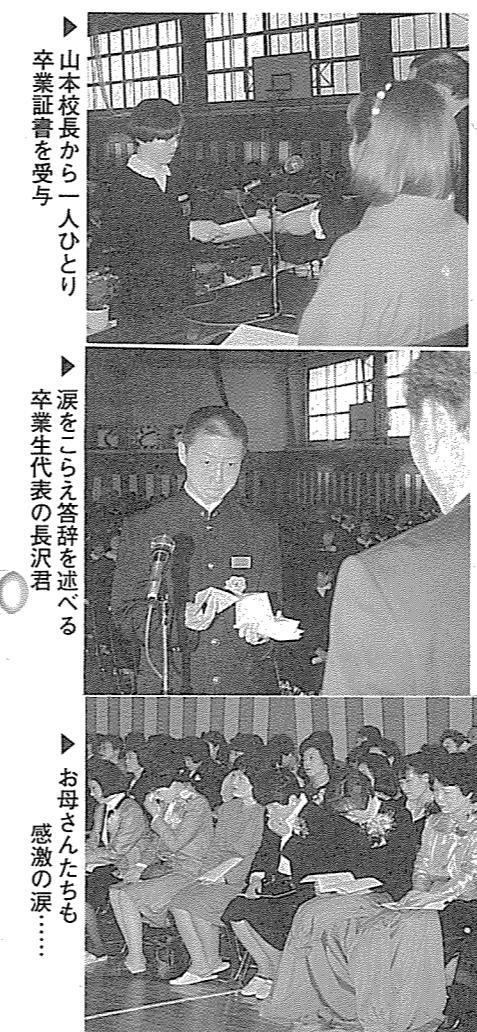
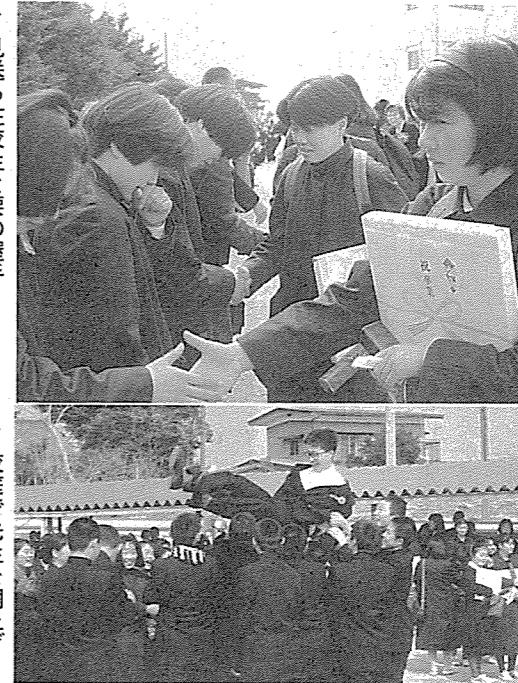
希望胸に巣立ち

尚英中卒業式

三月は卒業のシーズン。今年も新地高校が一日、尚英中学校が十三日、三小学校が二十三日にそれぞれ卒業式が行われました。

尚英中学校では、山本道雄校長が卒業生百二十七人一人ひとりに卒業証書を渡し「心身の健康と学力向上に全力を挙げてください」と式辞を述べ、荒町長らがお祝いの言葉を贈りました。

卒業生代表の長沢孝行君が「学んだことを忘れずさらに精進します」と誓いました。現代つ子はドライと言われますが「螢の光」や「仰げば尊し」の歌の場面ではハンカチで涙を押さえる卒業生が多くありました。



ガン年齢になつたら

まず検診

保健婦の健康メモ



▲ 昨年の検診会場から

今年も、住民健康診査の時期がやって来ました。四月六日～十日、十三日～十八日までの十一日間、農村環境改善センターで実施されます。

昨年の健診は、受けましたか？又、その結果はどうだったか覚えていませんか？

昨年の基本健診の結果につ

いてみると、受診者が二千八十六人中異常なしが百七十四人(七・九%)、要指導九百八十七人(四五・一%)、要医療千二十五人(四六・九%)でした。異常なのが少ないことは、驚かされます。自覚症状がなくても健診を受けたことの大切さがわかると思います。

さらに今年は、大腸がん検診が新しく始まり、また肝機能検査が一項増え(→IGT P検査)、より中味の充実した定期的に検査を受けることにより自分のからだの状態の流れをつかむことが大切といえます。なお、会場へはマイクロバスが運行しますので、御利用下さい。

昨年健診を受けなかつた方は必ず受けましょう。

● 基本健診日程

種類	日時	該当地区	場所	受付時間
結核検診 (肺野部がん検診を含む)	4月6日(月) 4月7日(火) 4月8日(水) 4月9日(木) 4月10日(金) 4月13日(月)	岡中島 杉目作田 新地町・今泉 小川 釣師 中里・木崎 上真弓・鉄炮町	農村環境改善センター	●結核検診、基本健康診査と胃がん検診すべてを受ける方。 7時30分～9時まで。 ●結核検診と基本健康診査を受ける方。 8時30分～11時まで。 ●結核検診のみの方は午前10時～11時まで。
肺がん(たん)検診	4月14日(火)	駒ヶ嶺町・上ノ町・富倉 新町・原相善・今神		
基本健康診査	4月15日(水)	城内・藤崎北向・渋民		
胃がん検診	4月16日(木) 4月17日(金) 4月18日(土)	菅谷・高田 沢口・下真弓 大山田・明地 大戸浜・堺浜		
大腸がん検診	4月22日(木)	駒ヶ嶺地区 福田地区 新地区	駒ヶ嶺公民館 勤労青少年センター 農村環境改善センター	午前8時～9時 午前9時30分～10時30分 午後1時～2時
子宮がん検診	5月11日～6月12日(土・日は除く)	全地区	相馬馬鹿産婦人科病院	医療機関が指定した時間
集団検診(けい部)				
施設検診(体部)				

歩いて
健康づくり

今年も恒例の町民歩こう大会を四月二十九日(みどりの日)に行います。今回は鴻巣ダムから歩いて鹿狼山の頂上まで登るコースを予定しています。もちろん、頂上まで登らなくとも結構です。自分の体力に聞きながらのんびり

とマイペースで歩いてみてください。

最近、町内のあちらこちらで歩いている人を見かけます。

毎日の楽しみの一つになつて歩く人、仲間をつくつて歩く人、風に吹かれ周りの景色を見ながら歩くことが、いるようです。現代人は、意識して体を動かしていないと運動不足になります。ぜひこの機会に家族そろって歩こう大会に参加してください。

町出身者迎え

4校で講演会



▲ トップを切って
加藤賢吉長町小校長の講演



▲ 尚英中で開かれた加藤清雄
酪農学園大助教授の講演

町出身者による講演会が今年も二月十九日から二十五日かけて尚英中、新地小、福田小、駒ヶ嶺小の四校で開かれました。

今日は、二月十九日、新地小で加藤清雄仙台市立長町小学校、二十一日、福田小で林偕子郡山女子大助教授、尚英中で加藤清雄酪農学園大助教授、二十五日には駒ヶ嶺小で星茂画家がそれぞれ講演を行いました。

トップを切って新地小児童を対象に農村環境改善センターで開かれた加藤賢吉長町小学校が「新地小学校と私」と題して講演。加藤さんは新地小に入学した時、新地尋常高等小学校と呼ばれていたことや男女別々の教室であったこと、当時の子供たちの遊びや生活ぶりなどについて説明しました。そして、学生時代の遊びや学習を通じて社会のルール、努力することの大切さなどを子供たちに話していました。

